

2024年 年頭の辞

真価が問われる大学教育



学長
竹内 貞雄

新型コロナウイルスの流行も終息に近づきましたが、ハマスとイスラエルの戦闘など、世界情勢は混迷を増すばかりです。

「希望に満ちた時代の幕開け」を願う一方、実現するには個人の力が

今まで以上に必要な時代になったと感じています。組織は時代の変化に対応することが必要ですが、組織に帰属する個人は、「対応させられる」のではなく「変化をさせる側」に在る必要があります。すなわち、既存の技術・習慣に従うのではなく、新しい価値を創造し、イノベーションを起こせる人材がいないと組織は変化に対応できません。このような人材は高等教育を受けて優秀な成績を修めるだけでは育てられません。学

んだ事を実社会で応用するための思考習慣を身につける必要があります。本学はこれを実現するため、中期計画で学びのコンセプトとして取り上げています。

具体的には、自分で課題を見つけ、解決方法を模索し、成し遂げるプロセスの体験が必要です。この基盤となるのが、専門知識とリベラルアーツと呼ばれる教養であり、卒業研究・計画によって思考習慣を習得するカリキュラムがそれに当たりま

本学は総合36位と高い評価を得ました。標榜してきた「学生を成長させる力」で選ばれる大学」を企業が認知してくれた事は喜ばしい限りです。これに甘んじることなく教育力を高める施策が必要です。本学の強みである卒業研究・計画の内容や面白さを1年次に知ることが、学びのモチベーションを高める上で有効です。

そこで、施策の一つとして必修科目に「学科探究セミナー」を立ち上げます。学生たちが小グループで研究室を訪問し、研究内容を精査して効果的なプレゼンテーションを行い、思考習慣を身につける科目です。実のある成果を得るには教員の協力が欠かせません。本学の強みに磨きを掛ける年になることを願っています。

テクノロジーの明日を



理事長
柳澤 章

2024年を迎えました。21世紀も4分の1まで届こうとしています。今年こそは、世界が明るい年となることを強く願わなければいけません。

コロナ禍では、医療従事者をはじめ社会の機能を支える人々の献身的な貢献とともに、情報技術の新たな展開によって、遠隔でコミュニケーションの新たな可能性を広げました。一方、戦禍は当事国・地域の深刻な状況のもと、国際社会の枠組みにも影響を及ぼしています。

さらに、温暖化によるものか、地球規模での猛暑は山火事をも伴うなど新たな脅威となってきました。これらの出来事は、人間がいかにテクノロジーを用いるのか、いかに

開発し、未来を描き出すのかということ無縁ではありません。

昨年来、世界の学校、企業で、さらに各国政府において、生成AIの利用の可否をめぐって議論が巻き起こっています。人間を超えるかと騒がれた時期は過ぎ、「なぜ」「何のために」は人間だからこそと、あらためて人間とは何かを見つめ直す機会となったともいえます。とはいえず、驚異的なスピードで新たな利用方法が開発され、導入が拡大する中、エンジニアは理解が求められることでしょう。

それを導き出すヒントは、日本工業大学での学びの中に随所にあるのではないのでしょうか。その一つが、理論と実践の両面からのアプローチ

安全教育の日講演会

安全確保の考え方と機能安全の位置づけ

本学は安全に対する意識、安全教育の推進を全学的に共有することを目的として、2021年度より11月6日を「安全教育の日」と定めている。今年度は11月14日、全教職員対象の講演会を学友会館大ホールにおいて開催した。

冒頭、竹内学長は「教員が優先的に考慮すべきは学生の安全であるが、その範囲は多岐にわたる。本講演が安全の定義について考える契機となることを期待する」と述べた。

続いて、東京都医療保険協会医療の質向上研究所主査を務め、機能安全の第一人者として知られる佐藤吉信氏が登壇。「機能安全とその周辺の課題」をテーマに講演を行った。

機能安全とは、例えば自動車の衝突回避ブレーキのように、機能的な工夫によって許容範囲内の安全を確保すること。これが近年注目されている背景として佐藤氏は、安全確保のためのプログラマブル電子機器の利用拡大があると指摘。現在は国際規格も策定され、あらゆる産業分野で適用されているという。佐藤氏は安全確保のパラダイム（考え方）について解説し、機能安全の位置づけを明確にしたうえで、その基本的方法を説明。そして「本講演の内容を安全関連の教育・研究、実験・実習に役立ててほしい」と求めた。

次に、データサイエンス学科の辻村泰寛教授が「大学における安全教育の現状」と題し、他大学の取り組みについて具体的な事例を示しながら報告。本学の安全教育については、さらなる「見える化」、全学的な活動への展開、資金的支援が必要であると提言した。

最後に応用化学科の大澤正久教授が「大学における安全は、機能安全で対応可能という印象を持った。教員の意識や活動に機能安全の思考を取り入れてもらいたい」と締めくくった。



講師の佐藤氏

日本工業大学 学部 2024年度入試日程

【基幹工学部】機械工学科/電気電子通信工学科/応用化学科 【先進工学部】ロボティクス学科/情報メディア工学科/データサイエンス学科 【建築学部】建築学科(建築コース/生活環境デザインコース)

入試種別	日	程
一般選抜	出願期間	一般選抜A 1/6(土)～1/23(火) Web受付開始12/15(金) 一般選抜B 2/3(土)～2/15(木) Web受付開始1/27(土)
	試験日と試験会場	1/29(月)～2/1(木) 埼玉キャンパス、盛岡、福島、水戸、宇都宮、高崎、川越、柏、千葉、品川、池袋、立川、新潟、長野、三島 2/20(火) 埼玉キャンパス、宇都宮、高崎、川越、柏、池袋
	合格発表日	2/9(金) 2/29(木)
	英語外部試験利用	出願期間 2/3(土)～2/15(木) Web受付開始1/27(土) 試験日と試験会場 2/20(火) 埼玉キャンパス、宇都宮、高崎、川越、柏、池袋 合格発表日 2/29(木)
3月入試	出願期間	2/27(火)～3/6(水) Web受付開始2/20(火)
	試験日と試験会場	3/9(土) 埼玉キャンパス
共通テスト利用	出願期間	共通テスト利用A 1/6(土)～2/1(木) Web受付開始12/15(金) 共通テスト利用B 2/3(土)～2/15(木) Web受付開始1/27(土) 共通テスト利用C 2/19(月)～3/6(水) Web受付開始2/12(月)
	大学入学共通テスト実施日	1/13(土)・14(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません
	合格発表日	2/9(金) 2/29(木) 3/14(木)
	外国人留学生入試	第2期 出願期間 1/6(土)～1/15(月) Web受付開始12/15(金) 試験日と試験会場 2/1(木) 埼玉キャンパス 合格発表日 2/9(金) 10:00 第3期 出願期間 2/27(火)～3/6(水) Web受付開始2/20(火) 試験日と試験会場 3/9(土) 埼玉キャンパス 合格発表日 3/14(木) 10:00

①入試奨学金20万円給付！充実の奨学金制度。昨年度実績479名！【一般選抜と共通テスト利用の成績優秀者】
②完全インターネット出願 同時出願併願制あり！【一般選抜・共通テスト利用】
③全国15ヵ所試験会場 地元で受験できます！【一般選抜】
④2月・3月に受験できます！【一般選抜・共通テスト利用・3月入試】+外国人留学生入試
●各入試の詳細は受験生サイトに掲載しているそれぞれの「募集要項」でご確認ください。

お問い合わせ先 TEL.0120-250-267(入試課) URL https://www.nit.ac.jp



募集要項ページはこちら

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集（日本工業大学大学院 社会人特別選抜）

◆大学院工学研究科
博士前期課程・博士後期課程
*環境共生システム学専攻 *機械システム工学専攻
*電子情報メディア工学専攻 *建築デザイン学専攻

■2024年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
二次募集	2024年2月7日(水)～2月14日(水)	2月21日(水)	3月1日(金)	3月6日(水)

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係 TEL 0480-33-7507 URL https://www.nit.ac.jp

日本工業大学 専門職大学院(大学院技術経営研究科技術経営専攻) 中小企業経営コース/事業創業コース/中小企業診断コース

働きながら学べる専門職大学院 第20期生 募集！

■2024年度 専門職大学院 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
第3回募集	1月29日(月)～2月5日(月)	2月18日(日)	2月23日(金)	3月4日(月)

願書のご請求およびお問い合わせ先：
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 日本工業大学 専門職大学院
TEL: 03-3511-7591 FAX: 03-3511-7594 メール: mot@kanda.nit.ac.jp

体育祭 屋外競技とe-sportsで熱戦！



快晴の中行われた屋外競技

10月7日・8日に体育祭が開催された。1日目はグラウンドにてリレー・大縄跳びなどの屋外スポーツ競技、2日目は昨年度に続き「e-sports大会」が、5号館教室において実施された。学生は両日とも、熱戦を繰り広げ、参加者同士の親睦も深まった。

若杉祭 4年ぶり通常開催で多数来場

10月28日・29日、第55回若杉祭（大学祭）が埼玉キャンパスにおいて開催された。

本年度は、4年ぶりに制限のない若杉祭となり、飲食販売等の模擬店や「秋のからっ風こんさあと」、「声優TALKSHOW」などの各種イベントに、学内外問わず多くの方が参加し、賑わいを見せた。

また、教室や特設ステージでは、各団体の企画や音楽団体のライブが催され、2日目には、打ち上げ花火や抽選会などが行われ、こちらも盛況であった。

両日合わせ、約3000名の来場者数を記録し、本学最大の学生行事に相応しい盛り上がりとなった。



飲食の模擬店も盛況であった



教室では団体ごとに作品などが展示された

学生自治会中央執行委員長 就任挨拶

有意義な学生生活を目指して

建築学部建築学科建築コース3年
福島県立勿来工業高等学校出身

片野 成琉

す。これまで私を支えてくださった皆様方には心より御礼申し上げます。

新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この度、第56期中央執行委員長に就任いたしました、片野成琉と申します。長い歴史を持つ学生自治会の代表に就くこととなり、非常に光栄であると同時に、重責に身が引き締まる思いでございます。



今後は学生自治会の代表として、先代方から引き継いだ大学を皆様方がより盛んで有意義に学生生活を送ることができるよう、微力ながらお手伝いいたします。中央執行委員会は今後の学生自治会を盛んにするため、皆様のご意見・ご要望に耳を傾け、他大学の良い活動を吸収するなどして、更なる発展を目指し、努力して参ります。

最後になりますが、日本工業大学と学生自治会のより一層の繁栄を祈念し、中央執行委員長の就任の挨拶とさせていただきます。

ホームカミングデー 旧友や教職員と再会

10月28日、第20回ホームカミングデーがダイニングホール（学生食堂）において4年振りに対面形式で開催された。

再始動ということでは、プログラムは懇親会を中心とした内容となり、従来実施していた抽選会や見学会は見送られた。開会宣言に続き、柳澤



懇親会で久しぶりに旧友と再会

乾杯後の懇親会では、本学吹奏楽団による心和演奏の中、多くの参加者が会食を楽しみながら、世代を超えて交流する様子が各所で見られた。また、スクリーンに

映し出された卒業アルバム（の若き恩師や旧友を懐かしむ光景もみられた。今回は卒業生240名、現職・退職教職員86名、合わせて326名が参加した。卒業生同伴の家族などを含めると総数は400名を超えていた。

章理事長が大学創成期の卒業生の参加を喜び「学園や大学の益々の発展を祈念する」と挨拶した。続いて、本学出身者としては初の学長に就任した竹内貞雄学長は、変化の速い時代の流れの中で卒業生の活躍が評価されていることに触れ「今後は大学の特長を生かして共に育てていってほしい」と期待した。

少し気軽にイノベーション

大学院技術経営研究科・教授 浅見 哲也

専門職大学院だより

「発展途上国と先進国の差は知的生産の活力に尽きる」。大量生産は次第に発展途上国、後発参入者へ移行するため、製造力の強さのみで事業を優位に維持し続けることは困難である。

30歳の頃、この言葉に出会い強く感銘を受け、ノート破ってメモしていました。当時、私は電機メーカーの技術者として高性能デバイスを世界に先駆けて実現するために精一杯働いていました。40歳の頃、半導体事業

環境は大きく急激に変化しました。製造拠点は台湾へ移り、事業構造は垂直統合型から水平分業型へと変わり、競争要因はデバイス製造から製造装置開発の競争へと移行しました。携帯電話やインターネット等の普及により半導体産業は大きく成長しながら、水平分業構造で業界の成熟化が進みました。その結果、特定の尖った能力を有する企業が成長を遂げ、キラー技術の無い垂直統合型企業は姿を消していきまし

た。50歳の時、起業しました。人生初めての転職が起業でした。これは私がMOTを学ぶ契機となりました。起業1年目は赤字、2年目からは黒字化できましたが、目先の業務に追われて、起業時に目指していた未来の価値創り「人間の目の機能を超えた機械の目の開発」に着手することができずフラストレーションを感じていました。当時、日々の開発と将来の開発が不連続な二律背反

60歳を前に、私は教員になりました。秋学期からは学部科目「新会社設立と技術経営」を担当しています。一人の学生が、「起業のために、この世に存在しない新製品を世界に先駆けて創る必要性」を論じました。それが実現できると素晴らしいですが、容易なことではありません。自身の経験から、もう少し肩の力を抜いて考えて良いこともあると思いました。私はイノベーションサイエンスの立場で研究しています。イノベーション

とは語源であるラテン語「Innovare」の「新しくする」との意味です。イノベーションと言われると前述の学生の様なイメージを抱く人は少なくないと思いますが、革新的イノベーションと改善的イノベーションに分ける先行研究が存在します。私は革新的イノベーションと表されるコトですが、既存品との連続性を強く感じます。今の私にはその境界定義を適格に説明できませんが、何か革新の程度の差から分類されている様に感じています。故、日々発生する仕事もイノベーションに繋がる有意な行為であると信じていることができます。これから自身にできることから、一つ一つ丁寧な

本学卒業教職員の集い 新組織となつて開催

11月25日、本学を卒業した教職員の集いが、学友会館にて開催された。コロナ禍明けで4年振りの対面開催となった。参加者数はオンラインを含めて41名であった。土曜日の開催ということ

で、校務などの都合により参加を見送る卒業生はいたものの、今後の活動については企画、応援をしたいとのメッセージが多数あり、大学に対する想いが強く感じられた。



竹内学長が組織移行の経緯を説明

冒頭、新たに新組織の委員長に就任した守屋文俊氏（東京都立中野工科高等学校統括校長）から本会で卒業教職員の交流を深め、本学の後輩たちがより多く教職の道へ進むことを期待したいとの挨拶があった。

閉会後、同日行われていた教職教育センター主催の教員採用試験合格者体験発表会に参加した在学生と卒業生が本会の参加者と合流。合同での懇親会を行い、お互いに親交を深めた。



懇親会では在学生の教員採用報告も行われた

説明があった。続いて、今後のあり方や活動内容についての協議が行われた。新組織の目的や参加対象者などが提案され、連絡委員の担当となる教員の紹介があった。その後、入試部入試課と工友会奨学金検討委員会から、卒業生の勤務校での指導の一助に繋がる今の学生の募集に関する説明があった。

専門職大学院
オープンキャンパス
1/20 (土) 13:30-16:15
大学院紹介、模擬授業、パネルディスカッションなど
※予定変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトでご確認ください
TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

ビジネスプランコンテスト

全208件の応募から学長賞など選出

10月31日、第18回ビジネスプランコンテストが学友会館ホールにおいて開催され、全208件の中からファイナリストに選ばれた8名がプレゼンテーションを行った。グランプリとなる学長賞に機械工学科3年福田蒼馬さん、観客からの投票結果で決定するオーディエンス賞はロボティクス学科3年湯浅颯亮さんが選ばれた。受賞

に際し福田さんは「大学での学びやアイディアを活用する事で、日本の伝統工芸はまだまだ活性化できる」と期待を込めた。湯浅さんは「VTuber等の新しい文化の活用が同世代の共感を得た結果。投票してくれた方々に感謝したい」と謝辞を述べた。



賞	氏名 (代表)	プラン名
学長賞	福田 蒼馬	舞う雛人形づくり教室
NITEC賞	湯浅 颯亮	Live2Dを用いたユーザーサポート
川口信金賞	関口 総司	TradexLink ～アナログ・デジタル融合型の工程管理システム～
宮代町長賞	伊藤 潮里	インバウンドを促進させる、空き家をリフォームした体感型TRPG
杉戸町長賞	清水 太陽	大学のオープンキャンパスと連携したe-sports大会とゲーミングPCを通じた体験
イノベ・起業教育センター長賞	高橋 滉太	カブトムシ、クワガタを育てて自由研究にしよう
審査員特別賞	福島 直希	汚部屋脱出プラン ～あなたに掃除の習慣を～
優秀賞	伊藤 圭吾	中小ボーリング場の活性化を支援する予約アプリ

観客の投票によって選出される「オーディエンス賞」には湯浅颯亮さんの「Live2Dを用いたユーザーサポート」が選ばれました

地域連携関連事業

木工サークル 保育園の靴箱を製作



製作作業は建築技術センターで行われた

木工サークルは地元宮代町のイベントへの参加や、近隣自治体からの依頼による家具製作など、地域連携活動を精力的に行っている。今回は宮代町より、みやしろ保育園の靴箱を更新したいとの依頼があり、同サークルが得意とする木材を使用した靴箱を製作した。製作にあたっては同サークル顧問で建築技術センターの後藤裕樹助手、建

築学科の野口憲治助教がサポートに入り、技術的なアドバイスをを行った。学生たちは7月中旬から製作を開始し、野口助教の指導のもと木工CN C（加工機）にて木材を加工した。8月下旬に園児と一緒に動物をかわ

どった靴箱の飾りに色塗りをを行い、9月に完成し、保育園に納品した。靴箱と併せて、木材を使用して製作したおもちゃもプレゼントした。

午前中は、電気電子通信工学科の平栗健史教授が講師となり、ドローンの講義を行った。その後、平栗研究室の学生によるドローン操縦体験を実施。プログラミングによる自動操縦体験では、指示通りに自動で動くドローンに参加者は釘付けで、ドローンが一回転す

小・中学生向け 職業探索イベント

9月30日、春日部市教育委員会主催のイベント「小・中学生向け職業探索シリーズ③ ドローン」を学び、操縦にもチャレンジ」が本学にて開催され、19組38名の親子が参加した。



ドローンの説明を行う平栗教授

ると大きな歓声が上がる場面もあった。タブレットを用いた操縦では、学生のサポートを受けながら夢中でドローンを飛ばす子どもたちの姿が印象的であった。最後は参加者全員が集合してドローンによる空撮も行った。貴重な体験に子どもたちだけでなく保護者も喜んでた。



試合前に天満宮を参拝

大会は11月11日、4年ぶりに開催された。本学とともに天満宮に参拝後、武道場にて年別と基礎の4クラスに分かれてトーナメント形式で試合を行った。児童たちは礼儀正しく挨拶をし、元気に試合に臨んでいた。

地元の小小学生剣士が熱戦
天満宮奉納少年剣道大会
大会は11月11日、4年ぶりに開催された。本学とともに天満宮に参拝後、武道場にて年別と基礎の4クラスに分かれてトーナメント形式で試合を行った。児童たちは礼儀正しく挨拶をし、元気に試合に臨んでいた。



学生のアドバイスを受けながらロボットを製作

「こもれびの森」からの依頼によるもので、当日来場した子供たちを対象として、ロボット製作とヤジロベエ工作の2テーマが用意された。

白岡市のイベントで
子供向け工作教室を実施
11月18日、埼玉県白岡市の「第3回こもれびの森まつり」において、本学教員と学生が子供向けの工作教室を実施した。同市生涯学習センター

（キット）の製作に取り組んだ。ヤジロベエ工作は、共通教育学群の服部邦彦教授、瀧ヶ崎隆司教授と学生1名が担当。保護者を含む81名が参加した。こちらも、子供たちは製作過程においてアドバイスを受けながら、ハサミやのりを駆使して「紙で作るバランストンボ」などを製作した。

TOEIC試験に 学生が多数挑戦



319名が3教室に分かれて受験した

10月21日、埼玉キャンパスにおいてTOEIC C・IP試験が実施された。本学学生対象の団体受験として、就職支援課と共に英語学習サポートセンターが開催している。近年、就職活動においてもTOEICは重要視されており、就職へのパスポートとなっている。入社後も実用的な英語力が求められ、エンジニアにとっても明るい未来を切

り開く要素といえる。その能力を証明するのがTOEICのスコアである。本試験を受験する学生も年々増加している。今回は今年度2回目の試験で、319名が挑戦した。複数回受験してスコアアップを目指す学生も多い。熱気と程良い緊張感が漂う中、学生たちは、これまで取り組んできた成果を発揮すべく、真剣に試験に臨んでいた。



SDGs for Engineersのメンバーが食品廃棄物再利用や地域脱炭素などの研究成果をパネルで紹介。担当の伴雅人教授、内田祐一教

国内最大級の環境展示会 今年は3団体が出展



学生環境推進委員会は、若杉祭に「古着のリサイクルショップ」を出店した。この企画は、毎年春に実施している「家具・家電のリサイクルショップ」に続く古着バージョンと位置付け、SDGsの目標12（つくる責任つかう責任）の達成に向けた取り組み。若杉祭では、事前に全学から集まった120点以上の古着を一般の来客者も対象に無料で提供した。

新企画！ 古着のリサイクルショップ

利用者からは大好評で、次の開催が期待されている。



授もブース前に立ち、来訪者からの専門的な質問に答えていた。会期中、両ブースとも学生スタッフが交代で常駐し来訪者に応じた。普段の授業では得がたい貴重な経験となった。

学生が主役の選書会

LCセンター主催 特設書林

10月20日、LCセンター主催の第2回選書会が5号館のラーニングセンターにおいて開催された。

授業関連の専門書を中心に、洋書から雑誌に至る新刊本386冊を実際に手に取ることができる「一日図書館」である。参加した学生・教職員279名が選んだ376冊は現在、LCセンター2階の新着図書コーナーに配架されている。ぜひこの機会に、LCセンターを訪れてみてほしい。



多数の受賞が報告されました！

昨年夏から秋にかけて、主に工学研究科の大学院生より、学会など学術機関からの受賞報告が多数報告された。本学の教育研究レベルの高さを示す結果となった。

こうした輝かしい成果は、学生自身の努力や指導教員の熱意によるものであるが、工業系大学の中でも卓越した実験研究設備・施設の充実も大きく寄与しているといえる。

授賞団体名	受賞名	受賞者氏名	所属学科・専攻（研究室名）	受賞論文題目・作品名	受賞日
日本きこ学会	学生優秀発表賞	尾釜遼	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（平栗研究室）	雷撃の音圧と周波数成分によるシタケ子実体の発生促進効果	8/8
日本塑性加工学会	優秀論文講演 奨励賞	波多野滉也	機械システム工学専攻 博士前期課程2年（瀧澤研究室）	異方性主軸と主応力軸が異なる十字形二軸引張試験の数値解析的検証	8/16
電子情報通信学会	最優秀ポスター賞	平田翔	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（平栗研究室）	三次元環境におけるマルチバス干渉に適したドローン・ハンドオーバー手法の検討	9/1
	優秀ポスター賞	遠藤啓太	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（平栗研究室）	機械学習を用いた最適なナシ花粉採取時期の推定	
非線形ワークショップ夏の大会	最優秀発表賞	稲葉賢駿	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程1年（木村研究室）	道路網に対するシミュレータを用いたカオスニューロダイナミクスによる経路制御手法の性能調査	9/2
	優秀発表賞	小竹望未	電気電子通信工学科4年 （木村研究室）	巡回セールスマン問題に対して適応的フェロモン蒸発を用いたAnt Colony Optimizationの性能評価	
日本知能情報ファジィ学会	貢献賞	望月典樹 助教	ロボティクス学科	—	9/5
電気・機械応用工学関連国際会議	最優秀論文賞	普天間光星	機械システム工学専攻 博士前期課程2年（浦川研究室）	反動抑制を含む衝突緩和動作に関する研究	9/9
日本金属学会	まてりあ論文賞	岡本和也 教授	大学院技術経営研究科	先端材料開発に向けた、AI先端計測技術の多角的視点からの考察（第1回）（第2回）	9/20
電子情報通信学会	学生研究奨励賞	星野武尊	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程1年（伊藤研究室）	きゅうりの等級判定のためのRGB色空間を使用した教師データ生成手法	9/22
非線形理論応用国際シンポジウム	学生論文賞	稲葉賢駿	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程1年（木村研究室）	道路網に対するカオスニューロダイナミクスを用いた経路制御手法	9/29
東京都豊島区	令和5年度 豊島区 功労者 自治功労	佐々木誠 教授	建築学科	—	10/1
電子情報通信学会	はじめての研究会 講演奨励賞	長谷川太悟	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程1年（伊藤研究室）	受粉ドローンを用いた群知能アルゴリズムによる花探索のための評価空間構築手法の提案	10/5
革新的無線通信技術に関する横断型研究会MIKA2023	最優秀ポスター賞 （若手部門）	遠藤啓太	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（平栗研究室）	ナシの開花期における花粉量推定法	10/12
		星野武尊	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程1年（伊藤研究室）	CNNを用いたきゅうりの等級判別システムに関する一検討	
	ポスター賞 （若手部門）	阿久津信朗	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（伊藤研究室）	映像と無線の品質変動を考慮した低遅延アプリケーションのためのMBR制御手法の一検討	
		尾釜遼	電子情報メディア工学専攻 博士前期課程2年（平栗研究室）	雷撃音によるシタケ発生の優位性	
日本建築学会	若手優秀発表賞	水野聖巴	建築デザイン学専攻 博士前期課程1年（那須研究室）	枠組壁工法における壁パネル相互の接合方法に関する研究 その4：高耐力壁における突合せ仕様の開発	10/31
		松本昂大	建築デザイン学専攻 博士前期課程2年（那須研究室）	木造耐力壁における接合具の種類混用による影響：釘とビスの特性を活かした耐力壁の開発	
日本銅学会	第57回論文賞	瀧澤英男 教授	機械工学科	簡易同定法による銅および黄銅の降伏曲面のモデル化	11/3
日本磁気科学会	学生ポスター賞	施祖鵬	2023年3月大学院博士前期課程 修了、現職ヤマナカコーギン	—	11/10
		鈴木智明	環境共生システム学専攻 博士前期課程2年（池添研究室）	磁気浮上条件下での再結晶過程の観察	

高校生対象のSDGSコンテストに協賛

本校は「SDGS QUEST miraい甲子園」埼玉県大会のゴールドパートナーに就任した。昨年度256校、総勢5010名が参加した本大会は、全国開催エリアの高校生たちがチームを組む、主体的にSDGSを探究し、様々なアクションアイデアを創出、発表する。高校で実施する「総合的な探究の時間」において解決力、プレゼンテーション能力を育成することを目的として、多くの高校で導入されている。埼玉県大会ファイナルセレモニーは3月10日に開催される。SDGSを起点として社会課題解決に向けた行動を促す機会として、変化する世界情勢や環境問題、福祉社会、地域課題とテーマは多岐にわたる。本学はこれからも持続可能な社会の担い手となる高校生を応援していく。

国家技能検定試験 機械工学科の3名が合格

中央職業能力開発協会主催の国家技能検定試験（機械加工職種普通旋盤）に今年も学生が挑戦した。8月25日、9月29日に結果が発表され、機械工学科3年の長澤海飛さん、麻戸勇吾さんが2級、高安洸希さんが3級に合格した。



（左より）高安さん、麻戸さん、長澤さん

備に入り、新学期以降は主催の国家技能検定試験に今年も学生が挑戦した。8月25日、9月29日に結果が発表され、機械工学科3年の長澤海飛さん、麻戸勇吾さんが2級、高安洸希さんが3級に合格した。

学力試験受験生対象の 入試対策講座を開催



10月29日および12月17日、総合型選抜（基礎学力型）や一般選抜といった学力試験入試を視野に入れた受験生向けに「受験生限定 入試対策講座」を開講した。試験科目である数学や理科（物理・化学）

大学入学共通テスト 本学会場で実施

令和6年度大学入学共通テストが実施される。本学は、当該テスト実施日1月13日、14日の試験会場となっており、前日12日から当日にかけて、関係者以外のキャンパスへの立入りが制限される。

受験生サイト
入試情報
一覧ページ



国外出張

◆生駒哲一教授（電気電子通信工学科）／出張先Ⅱベトナム（11/27～11/30）／目的Ⅱ国際会議第12回制御、自動化、情報科学に関する国際会議2023への参加と研究発表

◆大田健紘助教（電気電子通信工学科）／出張先Ⅱオーストラリア（12/3～12/8）／目的Ⅱ音響学に関する国際会議（Acoustics 2023）における研究発表

英語の講座を開講し出題傾向や対策を紹介した。さらに、希望者に対して学生によるキャンパスツアーや個別相談、保護者向け説明会や在学生トークショーなど、参加者に向けて大学の特長や入試を詳しく紹介するイベントも実施。当日は多くの受験生や高校生、保護者が参加した。

NIT Open Campus

夢中がみつかる
理系のバイキング！

3/23^土

大学・学科紹介、キャンパスツアー、
研究室紹介、無料ランチ体験、
個別進学相談、女子向けイベントほか



詳細はこちら

宮代町
だより
245号



みやしろ缶バッジ
大好評発売中！

大好評の「みやしろ缶バッジ」。そのシリーズが登場しました。シリーズ2、3は「メイドインみやしろ推奨品店舗」。大学通り沿いにある「どさん子大将」や「カレーハウスとん」と、「龍盛」をチェック！

無印良品東武動物公園駅前 まちの案内所
新しい村 森の市場
※イベント出展等で移動することがあります。町公式X (@miyashiro-machi) をチェック！

023）における研究発表

◆加藤史仁教授（機械工学科）／出張先Ⅱ台湾（12/4～12/7）／目的Ⅱ高周波技術に関する国際会議のワークショップにおける無線センサの講演

◆二宮進一教授（機械工学科）／出張先Ⅱ台湾（12/10～12/15）／目的Ⅱ先端低粒加工に関する国際シンポジウム（ISAAT2023）講演発表およびICATミーティング

◆張曉友教授（機械工学科）／出張先Ⅱ中国（12/26～1/2）／目的Ⅱ第2回機械工学および電力工学に関する国際会議（MEPE2023）と大学見学

【日程変更】
243号掲載より変更
◆梅谷篤史准教授（共通教育学群）／出張先Ⅱアメリカ（11/26～11/29）／目的Ⅱ第6回日米物理学会 合同核物理分科会で開かれるワークショップに参加・発表